

外国為替証拠金取引において投資家が負担する主なリスクとコスト

1. リスク

(1) 業者の信用リスク

投資家が取引を行う外国為替証拠金取引業者の経営状態の悪化等により、投資家への債務の全部又は一部が不履行となったり、投資家が預託した証拠金の返還やスワップポイントの支払いが実行されないこととなるリスク。

(2) 為替変動リスク

外国為替市場における相場の変動により、投資家が保有するポジションが減少するリスク。

(3) 流動性リスク

一時的な市場の流動性低下等により、投資家が取引したいときに市場で取引されている価格で取引ができないリスク。

なお、狭義には、業者の営業時間やシステム対応の不備により、24時間のリアルタイム取引を行えないリスクを指す場合もある。

(4) レバレッジ効果

証拠金取引の場合、以上のようなリスクが数倍にも膨らむこととなる。

2. コスト

(1) 業者の受け取る手数料

外がけ手数料方式・・・取引とは別に手数料がかかる方式

上乗せ手数料方式・・・取引された価格に手数料が含まれている方式

(2) プライス・スプレッド(クォート・スプレッド)

為替取引のプライス(クォート)は、売りレートと買いレートが両方提示される。スプレッドは、その日の為替変動状況等を勘案して決定される。

【提示されるプライス(クォート)の例(米ドル/円)】

110.20 – 110.25

- 投資家が売る場合のレート: 110円20銭
- 投資家が買う場合のレート: 110円25銭

(3) スワップ・ポイントのスプレッド

スワップ・ポイントについても、プライス(クォート)と同様、売りレートと買いレートがある。スプレッドは、その日の需給関係、金利動向、為替レート等を勘案して決定される。